

平成30年度第20回全国高等学校女子ウエイトリフティング競技選手権大会
<開催実施要項>

- 1 主催 (公社) 日本ウエイトリフティング協会
(公財) 全国高等学校体育連盟
- 2 後援 スポーツ庁・群馬県・群馬県教育委員会・(公財) 群馬県スポーツ協会
前橋市・前橋市教育委員会・(一財) 前橋市スポーツ協会
関東ウエイトリフティング連盟
- 3 主管 (公財) 全国高等学校体育連盟ウエイトリフティング専門部
群馬県ウエイトリフティング協会
群馬県高等学校体育連盟ウエイトリフティング専門部
- 4 期日 平成30年7月14日(土)～16日(月)
・開会式 平成30年7月14日(土)
・競技 平成30年7月15日(日)・16日(月)
・閉会式 平成30年7月16日(月)
- 5 会場 競技会・開会式：ヤマト市民体育館前橋
〒371-0816 群馬県前橋市上佐鳥町460-4 TEL 027-265-0900
- 6 競技種目 ○ 個人選手権
○ 学校対抗選手権
- 7 階級 女子7階級(48・53・58・63・69・75・+75kg級)
- 8 競技種目 規定2種目(スナッチ、クリーン&ジャーク)
- 9 競技日程 7月14日(土)
16:00～17:00 審判・監督会議
17:30～18:00 開会式
7月15日(日)
9:00～12:00 48kg級競技
12:00～15:30 53kg級競技
15:30～18:30 58kg級競技
7月16日(月)
9:00～11:30 63kg級競技
11:30～13:00 69kg級競技
13:00～14:30 75・+75kg級競技
15:00～閉会式

※エントリー数により、日程は変更される。なお日程変更は各参加校に通知する。

- 10 競技規定 平成30年度(公社)日本ウエイトリフティング協会競技規則による。
ただし、同規則の変更箇所は下記のとおりとする。

- (1) 抽選は資格審査会でパソコンによって競技委員長が一括して行う。
- (2) 選手紹介は行わない。
- (3) コールされてから試技までに 30 秒が許される。連続試技の場合は 1 分 30 秒が与えられ、1 分経過時に警告の合図が出される。時間内にバーベルが離床しなければ、その試技は失敗となる。
- (4) 日本高校新記録以上の記録に挑戦する場合の時間は、日本協会規則により実施する。
- (5) 各試技について、通常の申込の他に、最大 2 回重量変更が許される。許可される条件は下記のとおりである。
 - a. 増やす場合は、ファイナルコール以前であること。
 - b. 減らす場合は、変更したい重量がコールされる以前であること。
 - c. 第一試技以外は、申し込んだ重量を下げることはできない。

11 競技方法

- (1) 個人選手権

各階級のトータル記録によって順位を決定する。ただし、同記録の時は、先にその記録を樹立した者を上位とする。
- (2) 学校対抗選手権
 - ・参加選手の得点合計によって順位を決定する。
 - ・得点は、各階級とも、スッチ・クリーンアンドジャック・トータルそれぞれ下記の表に記載した点数とする。
 - ・得点対象者は、1 校につき 7 名以内、1 階級 2 名までとする。なお、参加者がこの枠を超える場合は、予め団体選手を登録することとする。
 - ・得点合計が同点の場合は、上位入賞者の多い学校を上位とし、なお同じ場合は 同位を分けることとする。

順位	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位	7 位	8 位
得点	9 点	7 点	6 点	5 点	4 点	3 点	2 点	1 点

12 参加資格

- (1) 選手は、学校教育法第 1 条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。但し、休学中、留学中の生徒を除く。
- (2) 平成 30 年 6 月 5 日までに(公社)日本ウエイトリフティング協会に選手登録者を完了した者。また、都道府県高等学校体育連盟に加盟している学校の生徒で、当該競技専門部に登録し、本実施要項により参加資格を得た者。ただし、都道府県高体連に専門部が設置されていない場合は、加盟校の生徒であることとする。
- (3) 年齢は、平成 11(1999)年 4 月 2 日以降に生まれた者とする。ただし、出場は 3 回までとし、同一学年での出場は 1 回限りとする。
- (4) チーム編成においては、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混合は認めない。
- (5) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる参加を認める。
- (6) 転校後、6 ヶ月未満の者は参加を認めない。(外国人留学生もこれに準ずる)ただし、一家転住などのやむを得ない場合は、各都道府県高体連ウエイトリフティング専門部長の認可があれば、この限りではない。
- (7) 出場する選手は予め健康診断を受け、在学する学校の校長及び各都道府県高体連ウエイトリフティング専門部長の承認を必要とする。

(8) 参加資格の特例

【ア】 上記(1)(2)に定める生徒以外で、大会参加資格を満たすと判断され、都道府県高体連ウエトリフティング専門部長が推薦した生徒について、別途定める規定に従い大会参加を認める。

【イ】 上記(3)の但し書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は3回限りとする。

《大会参加資格を別途に定める規定》

1 学校教育法第72条、115条、124条及び134条の学校に在籍し、都道府県高等学校体育連盟の大会参加が認められた生徒であること。

2 以下の条件を具備すること。

(1) 大会参加を認める条件

【ア】 (公財)全国高等学校体育連盟の目的を理解し、尊重すること。

【イ】 参加を希望する特別支援学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校にあつては学齢、修学年限ともに高等学校と一致していること。また、広域通信制連携校の生徒による混成は認めない。

【ウ】 各学校にあつては、都道府県高等学校体育連盟の予選会から出場が認められ、全国大会への出場条件が満たされていること。

【エ】 各学校にあつては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもと適切に行われており、活動時間が高等学校に比べ著しく均衡を失っていない、運営が適切であること。

(2) 大会参加に際し守るべき条件

【ア】 全国高等学校女子ウエトリフティング競技選手権大会の実施要項を遵守し、大会申し合わせ事項等に従うとともに大会の円滑な運営に協力すること。

【イ】 大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一の事故に備えて傷害保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。

【ウ】 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

13 出場資格及び選考方法 (1) 平成30年1月1日以降に開催された下記の公認大会を第20回全国高等学校女子ウエトリフティング競技選手権大会、選手選考対象試合とする。

【ア】 全日本Jr選手権大会、全国高校選抜大会、ブロック選抜大会

【イ】 平成30年度都道府県高等学校総合体育大会、ブロック選手権

【ウ】 都道府県公認大会

(公社)日本ウエトリフティング協会、(公財)全国高体連ウエトリフティング専門部主催以外の大会については、大会プログラムと公式記録を添付すること。(全国高体連専門部宛送付)

(2) 選考対象試合で下記の出場基準記録を上回った者を選考対象承認する。

階級記録	48kg 級	53kg 級	58kg 級	63kg 級	69kg 級	75kg 級	+75kg 級
(kg)	100	110	115	120	125	130	130

(3) 大会参加基準について(平成15年度全国委員会確認事項)

【ア】 申し込みをする階級で、予選会記録が参加基準記録以上であること。

【イ】 予選会の階級より、下の階級には申し込めない。

【ウ】 上の階級に申し込む場合は、その階級の基準記録以上であること。

- 14 出場承認 (1) 資格審査を全国高等学校体育連盟WJ専門部で実施し、出場承認する。
(2) 不承認者は、6月27日(水)までに申込責任者・学校に連絡する。
(3) 出場承認者には連絡しない。
- 15 監督及び引率 (1) 引率責任者は、校長の認める学校職員とする。
(2) 監督は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。
ただし、各都道府県における規定があり、引率・監督者がこの基準により限定された範囲内であればその規定に従うことを原則とする。
- 16 参加申込 (1) 申し込みは、所定の用紙を2部作成し、(2)の【A】【B】に送付する。
(2) 【A】 〒329-0205 栃木県小山市間々田23-1
栃木県立小山南高等学校内
全国高等学校体育連盟ウエイトリフティング専門部事務局
青木 延明 宛
TEL 0285-45-2424 FAX 0285-45-8949

【B】 〒371-0832 群馬県前橋市朝日が丘町13番地
前橋育英高等学校内
全国高校女子大会事務局 原 徹 宛
TEL 027-251-7087 FAX 027-251-7094
(3) 平成30年6月22日(金)午後5時必着
- 17 参加料 (1) 参加料1名につき4,000円
(2) 参加料及びプログラム代(監督及び選手1名あたり1,500円)を一括して7月6日(金)までに下記宛に振り込むこと。振込手数料は、参加者負担とする。
振込金融機関 群馬銀行 大利根出張所
口座番号 普通預金 0575213
名義人 全国高校女子大会事務局 事務局長 原 徹
- 18 表彰 (1) 個人選手権
各階級トータル記録6位までの選手を表彰し、3位までの選手にメダルを授与する。各階級、種目別3位までに賞状を授与する。
(2) 学校対抗選手権
総合成績6位までの学校を表彰し、1位の学校に優勝旗と楯を、2位・3位の学校に楯を授与する。
- 19 その他 (1) 競技中の疾病・事故(傷害)については、主催者は応急処置を行うが、その後の責任は負わないものとする。
(2) これらの事故に関しては、速やかに監督を通じて主催者へ届け出ること。健康保険証を各自持参すること。
(3) 引率責任者は、選手のすべての行動に対し責任を負うものとする。
(4) 監督・選手からプログラム代1,500円を徴収する。
(5) 大会に関して提供された個人情報は、本大会の目的以外には使用しない。なお、参加申し込み時点で、本人の了承を得たものとして取り扱う。
(6) エントリー集計後の競技日程の変更については後日連絡する。